※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１７

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語長文	2	3	CROSS SECTION Active practice reading

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

英文の読解が中心ですが、語彙、文法、表現、リスニングなど、様々なタイプの問題に取り組むことによって、総合的な英語力をつけることを目的とします。世界で起きている出来事や、英語圏をはじめとする人々の物の考え方や文化を知るための力をつけるために、この授業で学習することを役立ててください。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	様々な内容の英文をゆっくりはっきりと話されれば自分に必要な情報を聞き取ることができる。	まとまりのある英文を一定時間内に読み各段落のトピック、例示、詳細などを抑えながら全体の概要を理解することができる。	自分のこれまでの経験、将来の夢や希望などについて、前もって準備し、メモを見ながら理由と具体例を添えて短く説明することができる。	視覚的補助を利用しながら、身近な話題についてスピーチをすることができる。	身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容の要点を文章で書くことができる。 身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容の要点や内容に対する意見や感想を基礎的な語彙を用いて書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	考査を実施する。 文章を適切に読み取るために語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識を、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けているか。	考査を実施する。 文章を適切に読み取り、書き手の意図や文脈を理解し、テーマや文化的背景をつかむことや、表現方法に触れることができるか。	小テスト、パフォーマンステスト、授業態度、提出物を実施する。 主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けているか。課題に取り組み、4 技能の習熟を図ろうとする意欲があるか。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
	UNIT 1-3	聞くこと	a: 数字、位置などの情報を聞き取ることができる。 b: 内容の要点や必要な情報を聞き取ることができる。 c: 英語を聞きながら適切にメモを取ることができる。	授業態度 提出物
		読むこと	a: 新出単語や文法事項を理解し、文構造を理解することができる。 b: キーワードを見つけ、文章の大枠を捉えることができる。 c: 文章の内容を自分で読み取ろうとしている。	考査 小テスト 提出物
		話すこと （やりとり）	a: 時制について理解することができる。 b: 適切な英語でイラスト等の説明をすることができる。 c: 相手の発言に対し主体的に適切に英語で応答することができる。	パフォーマンス 授業態度
		話すこと （発表）	a: 発表して伝える技能が身についている。 b: 情報をまとめた文をもとに、発表して伝えることができる。 c: 主体的に自分の考えや気持ち、情報などを伝えようとしている。	パフォーマンス 提出物
		書くこと	a: 学習した文法事項を英文で適切に使用することができる。 b: 学習した内容についての質問に英文で答えることができる。 c: 学習した単語や表現を使おうとしている。	考査 小テスト 提出物
	中間考査			
	UNIT 4-6	聞くこと	a: 人の動作などの情報を聞き取ることができる。 b: 内容の要点や必要な情報を聞き取ることができる。 c: 英語を聞きながら適切にメモを取ることができる。	授業態度 提出物
		読むこと	a: 新出単語や文法事項を理解し、文構造を理解することができる。 b: キーワードを見つけ、文章の大枠を捉えることができる。 c: 文章の内容を自分で読み取ろうとしている。	考査 小テスト 提出物
		話すこと （やりとり）	a: 時制について理解することができる。 b: 適切な英語でイラスト等の説明をすることができる。 c: 相手の発言に対し主体的に適切に英語で応答することができる。	パフォーマンス 授業態度
		話すこと （発表）	a: 発表して伝える技能が身についている。 b: 情報をまとめた文をもとに、発表して伝えることができる。 c: 主体的に自分の考えや気持ち、情報などを伝えようとしている。	パフォーマンス 提出物
		書くこと	a: 学習した文法事項を英文で適切に使用することができる。 b: 学習した内容についての質問に英文で答えることができる。 c: 学習した単語や表現を使おうとしている。	考査 小テスト 提出物
	期末考査			
	UNIT 7-9	聞くこと	a: 位置関係などの情報を聞き取ることができる。 b: 内容の要点や必要な情報を聞き取ることができる。 c: 英語を聞きながら適切にメモを取ることができる。	授業態度 提出物
		読むこと	a: 新出単語や文法事項を理解し、文構造を理解することができる。 b: キーワードを見つけ、文章の大枠を捉えることができる。 c: 文章の内容を自分で読み取ろうとしている。	考査 小テスト 提出物
		話すこと （やりとり）	a: 受動態、不定詞について理解することができる。 b: 適切な英語で会話をすることができる。 c: 相手の発言に対し主体的に適切に英語で応答することができる。	パフォーマンス 授業態度
		話すこと （発表）	a: 発表して伝える技能が身についている。 b: 情報をまとめた文をもとに、発表して伝えることができる。 c: 主体的に自分の考えや気持ち、情報などを伝えようとしている。	パフォーマンス 提出物
		書くこと	a: 学習した文法事項を英文で適切に使用することができる。 b: 学習した内容についての質問に英文で答えることができる。 c: 学習した単語や表現を使おうとしている。	考査 小テスト 提出物
	中間考査			
	UNIT 10-12	聞くこと	a: 日時、場所などの情報を聞き取ることができる。 b: 内容の要点や必要な情報を聞き取ることができる。 c: 英語を聞きながら適切にメモを取ることができる。	授業態度 提出物
		読むこと	a: 新出単語や文法事項を理解し、文構造を理解することができる。 b: キーワードを見つけ、文章の大枠を捉えることができる。 c: 文章の内容を自分で読み取ろうとしている。	考査 小テスト 提出物

※令和４年度以降入学生用

		話すこと（やりとり）	a: 動名詞、分詞について理解することができる。 b: 適切な英語で文の内容の説明をすることができる。 c: 相手の発言に対し主体的に適切に英語で応答することができる。	パフォーマンス 授業態度
		話すこと（発表）	a: 発表して伝える技能が身についている。 b: 情報をまとめた文をもとに、発表して伝えることができる。 c: 主体的に自分の考えや気持ち、情報などを伝えようとしている。	パフォーマンス 提出物
		書くこと	a: 学習した文法事項を英文で適切に使用することができる。 b: 学習した内容についての質問に英文で答えることができる。 c: 学習した単語や表現を使おうとしている。	考査 小テスト 提出物
	期末考査			
	UNIT 13-15	聞くこと	a: 単語や文章などから情報を聞き取ることができる。 b: 内容の要点や必要な情報を聞き取ることができる。 c: 英語を聞きながら適切にメモを取ることができる。:	授業態度 提出物
		読むこと	a: 新出単語や文法事項を理解し、文構造を理解することができる。 b: キーワードを見つけ、文章の大枠を捉えることができる。 c: 文章の内容を自分で読み取ろうとしている。	考査 小テスト 提出物
		話すこと（やりとり）	a: 関係詞、仮定法について理解することができる。 b: 適切な英語で自分の考えをまとめ、述べることができる。 c: 相手の発言に対し主体的に適切に英語で応答することができる。	パフォーマンス 授業態度
		話すこと（発表）	a: 発表して伝える技能が身についている。 b: 情報をまとめた文をもとに、発表して伝えることができる。 c: 主体的に自分の考えや気持ち、情報などを伝えようとしている。	パフォーマンス 提出物
		書くこと	a: 学習した文法事項を英文で適切に使用することができる。 b: 学習した内容についての質問に英文で答えることができる。 c: 学習した単語や表現を使おうとしている。	考査 小テスト 提出物
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度